

Yumenodai75(6月)

～合格までの最短距離を再確認しよう～

3年生になり最初の模試はどうでしたか。受験勉強は順調に進められているでしょうか。集中して学習に取り組むことが大切です。

ここでは、3年生の学習習慣のポイントについてまとめています。難関大合格者のデータなどもあわせて紹介しているので、参考にしながらもう一度、学習スタイルを見直し、効率的に学習を進めていけるようにしましょう。

1. 自主学習時間を確保しよう

自主学習時間について下のデータを見ると、難関大合格者はこの時期に、十分な自主学習時間を確保していたことがわかります。ぜひ平日2時間以上、休日4時間以上を目安に、自主学習時間を確保していきましょう。下記の表の自分が該当する時間に○を入れてください。

また、「思ったように自主学習時間が確保できていない」と感じる人は、下の＜自主学習時間を確保するための3つのポイント＞を参考にしましょう。

平日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	私	難関大合格者
ほとんどしない		5.2
30分		5.2
1時間		10.4
1時間30分		11.2
2時間		26.0
3時間		25.9
4時間以上		16.1

休日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	私	難関大合格者
1時間以下		9.9
1時間30分		4.0
2時間		10.5
3時間		17.1
4時間		16.6
5時間		16.9
6時間以上		24.6

＜自主学習時間を確保するための3つのポイント＞

① 「生活の3点」と「学習開始時間」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間と学習開始時間を固定して、規則正しい生活を心がけましょう。

② まとまった学習時間をつくる

問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③ 休日の時間を有効利用する

平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

2. 授業を大切にしよう

学校の授業と受験勉強を別のものだと考えていませんか。

入試で問われる内容は、学校の授業で習うことを活用して解くことができます。つまり、学校の授業を通して自分の学びを深めることが、受験勉強を進めていくうえでも重要だと言えるでしょう。

「受験勉強」だからといって特別なことをするのではなく、まずは、「予習→授業→復習」のサイクルを崩さずに、学習を進めていくようにしましょう。

3. 模擬試験を活用しよう

これから入試まで模擬試験を受験する機会が多くなります。模擬試験をうまく活用することで、受験勉強をより効率的に進めることができます。下には、模擬試験の効果と有効活用法についてまとめていますので、確認しましょう。

＜模擬試験の4つの効果＞

①節目の効果	長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
②自己診断の効果	自分の弱点や課題を見つける。
③全国区の効果	全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
④試験慣れの効果	試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。

＜模擬試験の有効活用法＞

① 受験後、自己採点をしよう

受験後に自己採点をするために、解答を控えるようにしましょう。

② 間違えた問題と、正解したが理解があいまいだった問題を復習しよう

「理解できているか」を基準として、理解不足だった問題は必ず復習しましょう。

③ 自分の苦手分野を分析し、弱点を克服しよう

ただ解きなおすだけではなく、「自分が間違いやすい分野」、「ミスしやすい箇所」などをチェックし、自分の弱点分析に役立てましょう。

「難関大合格者」のデータは、2020年度入試における合格者の、スタディーサポート3年生第1回の平均回答率です。
※注目していただきたい数値に網掛けをしています。